

シ ラ バ ス

日本医療情報学会到達目標標準拠



学校法人伊藤学園
専門学校甲府医療秘書学院

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報専門	医療情報システム I (概論)	講義	前期	矢野 泰宏	6	専攻

実務経験のある教員による授業科目	ソフトウェア開発会社で医事会計システムなどの開発に携わった経験を活かし、情報システムの概論について講義を行います。
------------------	---

目的およびねらい	医療情報技師の役割と求められる基本能力・姿勢を身につけるために、医療情報の特性、取り扱い上の留意点を把握し、具体的な医療情報システムの内容、企画から稼働までの流れ、稼働後の維持管理の方法について理解する。さらに、医療情報を共有するための標準化について理解するとともに、医療情報分野の進むべき方向について考える能力を身につける。
----------	---

学 習 計 画	<p>医療情報を対象とするシステムに関わる上で、医療情報とそのシステム化の概念を把握する必要がある。そのために、医療情報システムの歴史、医療情報の特性・倫理をふまえた医療情報システムの取扱い上の留意点などを身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療情報システムが扱う情報の特性を理解する。 2 医療情報化の目的とそれに伴う歴史を理解する。 3 医療情報を扱う専門職として必要な医療情報倫理を修得する。
---------	--

教科書・参考書	
---------	--

評 価 方 法	筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満
---------	--

備 考	
-----	--

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教科	科目名	形態	開講学期	担当教員	時間数	履修年次
医療情報専門	医療情報システムⅡ (医療情報システムの構成)	講義	前期	矢野 泰宏	6	専攻

実務経験のある教員による授業科目	ソフトウェア開発会社で医事会計システムなどの開発に携わった経験を活かし、医療情報システムの構成について講義を行います。
------------------	---

目的およびねらい	医療情報技師の役割と求められる基本能力・姿勢を身につけるために、医療情報の特性、取り扱い上の留意点を把握し、具体的な医療情報システムの内容、企画から稼働までの流れ、稼働後の維持管理の方法について理解する。さらに、医療情報を共有するための標準化について理解するとともに、医療情報分野の進むべき方向について考える能力を身につける。
----------	---

学習計画	<p>医療情報システムの発展の歴史や機能要件を理解し、その具体的な機能や典型的なシステム構成を修得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保健医療福祉情報連携基盤の概念を理解する。 2 診療所の情報システムの特性を理解する。 3 病院情報システムの概要を理解する。 4 遠隔医療システムの概要を理解する。 5 地域における保健・医療・福祉情報システムの概要を理解する。 6 地域医療連携情報システムの概要を理解する。
------	---

教科書・参考書	
---------	--

評価方法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
------	---

備考	
----	--

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報専門	病院情報システムⅡ (システムの導入)	講義	前期	矢野 泰宏	12	専攻

実務経験のある教員による授業科目	ソフトウェア開発会社で医事会計システムなどの開発に携わった経験を活かし、情報システムの導入について講義を行います。
------------------	---

目的およびねらい	医療情報技師の役割と求められる基本能力・姿勢を身につけるために、医療情報の特性、取り扱い上の留意点を把握し、具体的な医療情報システムの内容、企画から稼働までの流れ、稼働後の維持管理の方法について理解する。さらに、医療情報を共有するための標準化について理解するとともに、医療情報分野の進むべき方向について考える能力を身につける。
----------	---

学 習 計 画	<p>病院情報システムを適切に導入し、運用するために必要な戦略的内容をもとに、システムのライフサイクル・プロセス、導入に関わる組織とそれらの特徴、そして組織間の調整について修得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 病院情報システムの戦略的導入に必要な内容を理解する。 2 病院情報システムの計画から稼働までのライフサイクルプロセスを理解する。 3 システム導入に関わる組織体制について理解する。 4 システム導入に関わる組織の組織間調整を理解する。
---------	--

教科書・参考書	
---------	--

評 価 方 法	筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満
---------	--

備 考	
-----	--

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報専門	病院情報システムⅢ (システムの運用)	講義	前期	矢野 泰宏	12	専攻

実務経験のある教員による授業科目	ソフトウェア開発会社で医事会計システムなどの開発に携わった経験を活かし、情報システムの運用について講義を行います。
------------------	---

目的およびねらい	医療情報技師の役割と求められる基本能力・姿勢を身につけるために、医療情報の特性、取り扱い上の留意点を把握し、具体的な医療情報システムの内容、企画から稼働までの流れ、稼働後の維持管理の方法について理解する。さらに、医療情報を共有するための標準化について理解するとともに、医療情報分野の進むべき方向について考える能力を身につける。
----------	---

学 習 計 画	<p>病院情報システムを適切に運用するために、医療情報システムの安全管理に関するガイドラインを理解するとともに、運用のための組織体制と運用業務の内容を修得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 病院情報システムの運用管理のための組織体制について理解する。 2 病院情報システムの安全管理に関するガイドラインとその運用について理解する。 3 医療情報の外部保存に関わるその他のガイドラインについて理解する。 4 運用管理規程の必要性とその内容について理解する。 5 病院情報システムの運用管理について理解する。 6 利用者教育について理解する。
---------	--

教科書・参考書	
---------	--

評 価 方 法	筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満
---------	--

備 考	
-----	--

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報専門	病院情報システムIV (システムの評価・改善)	講義	前期	矢野 泰宏	6	専攻

実務経験のある教員による授業科目	ソフトウェア開発会社で医事会計システムなどの開発に携わった経験を活かし、情報システムの評価や改善について講義を行います。
------------------	--

目的およびねらい	医療情報技師の役割と求められる基本能力・姿勢を身につけるために、医療情報の特性、取り扱い上の留意点を把握し、具体的な医療情報システムの内容、企画から稼働までの流れ、稼働後の維持管理の方法について理解する。さらに、医療情報を共有するための標準化について理解するとともに、医療情報分野の進むべき方向について考える能力を身につける。
----------	---

学 習 計 画	<p>導入された医療情報システムの評価を行うことができ、改善に向けた手法を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 システムの評価の目的と評価について理解する。 2 システム監査について理解する。 3 システム運用フェーズにおける、継続的なシステム改善に対する考え方を知る。
---------	--

教科書・参考書	
---------	--

評 価 方 法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
---------	---

備 考	
-----	--

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報専門	病院情報システムV (医療情報の標準化)	講義	前期	矢野 泰宏	6	専攻

実務経験のある教員による授業科目	ソフトウェア開発会社で医事会計システムなどの開発に携わった経験を活かし、医療情報の標準化について講義を行います。
------------------	--

目的およびねらい	医療情報技師の役割と求められる基本能力・姿勢を身につけるために、医療情報の特性、取り扱い上の留意点を把握し、具体的な医療情報システムの内容、企画から稼働までの流れ、稼働後の維持管理の方法について理解する。さらに、医療情報を共有するための標準化について理解するとともに、医療情報分野の進むべき方向について考える能力を身につける。
----------	---

学 習 計 画	<p>医療情報の標準化の目的を理解し、国内外の動向を知る。さらに様々な標準化の取り組みについて、それらの事例およびその内容を修得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 標準化の必要性和国内外の動向を理解する。 2 標準規格を策定している代表的な団体名とその役割を理解する。 3 代表的な用語・コードの標準規格について理解する。 4 代表的な医療情報交換等を目的に策定された規格を理解する。 5 相互運用性確保のための標準化について理解する。 6 国が推奨する標準化について理解する。
---------	--

教科書・参考書	
---------	--

評 価 方 法	筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満
---------	--

備 考	
-----	--

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報専門	マネジメント	講義	前期	矢野 泰宏	6	専攻

実務経験のある教員による授業科目	ソフトウェア開発会社で医事会計システムなどの開発に携わった経験を活かし、システム開発、維持管理に必要な調整、マネジメントについて講義を行います。
------------------	--

目的およびねらい	医療情報技師の役割と求められる基本能力・姿勢を身につけるために、医療情報の特性、取り扱い上の留意点を把握し、具体的な医療情報システムの内容、企画から稼働までの流れ、稼働後の維持管理の方法について理解する。さらに、医療情報を共有するための標準化について理解するとともに、医療情報分野の進むべき方向について考える能力を身につける。
----------	---

学 習 計 画	<p>医療情報技師に必要とされる、リーダーシップとマネジメントの概念を修得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療情報技師の3Cを理解する。 2 医療情報技師に求められる、調整に際して必要とされるスキルを知る。 3 医療情報システムの運営・管理に際して必要となるマネジメント手法を知る。
---------	---

教科書・参考書	
---------	--

評 価 方 法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
---------	---

備 考	
-----	--

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報専門	医療情報分野の動向	講義	前期	矢野 泰宏	6	専攻

実務経験のある教員による授業科目	ソフトウェア開発会社で医事会計システムなどの開発に携わった経験を活かし、情報分野の動向や政策について講義を行います。
------------------	--

目的およびねらい	医療情報技師の役割と求められる基本能力・姿勢を身につけるために、医療情報の特性、取り扱い上の留意点を把握し、具体的な医療情報システムの内容、企画から稼働までの流れ、稼働後の維持管理の方法について理解する。さらに、医療情報を共有するための標準化について理解するとともに、医療情報分野の進むべき方向について考える能力を身につける。
----------	---

学 習 計 画	<p>医療情報分野の海外の動向を理解するとともに、我が国で企画され公表されている将来計画について、その内容を理解する。今後、医療情報分野の情報システムをどのような方向に発展させるべきかを考える能力を修得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 諸外国の医療情報システムの先進的事例と動向を理解する。 2 我が国の医療の情報化に関する政策、将来計画を理解する。
---------	---

教科書・参考書	
---------	--

評 価 方 法	筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満
---------	--

備 考	
-----	--

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報技師	情報処理技術 I	講義	前期	矢野 泰宏	35	専攻

目的およびねらい	<p>医療情報技師が、医療現場のニーズにあった医療情報システムを開発・導入し、適切かつ効率的に運用・管理していくために必要な「情報処理技術」の知識および技能を修得する。この中には、「情報処理技術」の基礎的な事項だけでなく、医療情報技師として求められる医療分野における応用的な事項も含まれている。なお、学習目標に関連した具体的な技術は日々進歩しているので、医療情報システムに活用できる新技術を積極的に学ぶ必要性を理解する。</p>
学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の表現 <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム、コンピュータで扱われる情報の単位や、データの表現方法について理解する。 2 ハードウェア <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムを構成するコンピュータの種類と処理形態、またハードウェアの構造や基本的な動作原理、インターフェースについて理解する。 3 ソフトウェア <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報システムを適切に管理し利用するには、情報システムの動作を定義づけるソフトウェアについて十分に理解しておく必要がある。ここでは、ソフトウェアの種類や役割、ソフトウェアを作成するためのプログラミング言語や処理手順について理解する。 4 データの種類と変換 <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報システムで扱われるデジタルデータの型や種類、音声、画像などのデータを適切に扱うために必要な表現方法・形式を理解する。また、それらのデータの元になるアナログデータからデジタルデータへ変換する技術、効率的なデータ保存・交換のためのデータの圧縮技術について理解する。
教科書・参考書	
評 価 方 法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
備 考	

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報技師	情報処理技術Ⅱ	講義	前期	矢野 泰宏	35	専攻

目的およびねらい	<p>医療情報技師が、医療現場のニーズにあった医療情報システムを開発・導入し、適切かつ効率的に運用・管理していくために必要な「情報処理技術」の知識および技能を修得する。この中には、「情報処理技術」の基礎的な事項だけでなく、医療情報技師として求められる医療分野における応用的な事項も含まれている。なお、学習目標に関連した具体的な技術は日々進歩しているので、医療情報システムに活用できる新技術を積極的に学ぶ必要性を理解する。</p>
学 習 計 画	<p>データベースは、医療情報システムには欠かせない基盤技術の一つであり、医療情報の管理・活用に必要なデータベース技術として、データベースやデータモデルの概念、データベース管理システム、関係データベースの概略と操作技術、データベースの運用管理について理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 データベースの役割とデータベースモデルの概念を理解する。 2 関係データベースの概念と特徴を理解し、その操作言語を身につける。 3 代表的なプログラミング言語の種類とデータの処理手順を理解する。
教科書・参考書	
評 価 方 法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
備 考	

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報技師	情報処理技術Ⅲ	講義	前期	矢野 泰宏	35	専攻

目的およびねらい	<p>医療情報技師が、医療現場のニーズにあった医療情報システムを開発・導入し、適切かつ効率的に運用・管理していくために必要な「情報処理技術」の知識および技能を修得する。この中には、「情報処理技術」の基礎的な事項だけでなく、医療情報技師として求められる医療分野における応用的な事項も含まれている。なお、学習目標に関連した具体的な技術は日々進歩しているので、医療情報システムに活用できる新技術を積極的に学ぶ必要性を理解する。</p>
学 習 計 画	<p>ネットワーク技術は、医療情報システムの技術的基盤の一つとなっている。ここでは、医療情報システムを運用するために必要なネットワーク技術として、通信の仕組み、ネットワーク機器の役割、代表的なネットワークサービスとその技術などについて理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワークで利用される通信プロトコルを理解する。 2 ネットワークサービスとそれを実現させる機器や技術を理解する。
教科書・参考書	
評 価 方 法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
備 考	

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報技師	情報処理技術IV	講義	前期	矢野 泰宏	35	専攻

目的およびねらい	<p>医療情報技師が、医療現場のニーズにあった医療情報システムを開発・導入し、適切かつ効率的に運用・管理していくために必要な「情報処理技術」の知識および技能を修得する。この中には、「情報処理技術」の基礎的な事項だけでなく、医療情報技師として求められる医療分野における応用的な事項も含まれている。なお、学習目標に関連した具体的な技術は日々進歩しているので、医療情報システムに活用できる新技術を積極的に学ぶ必要性を理解する。</p>
学 習 計 画	<p>患者情報を多く扱う医療情報システムでは、情報セキュリティの確保が不可欠である。ここでは情報資産への脅威を理解し、医療情報を安全に管理・活用するために必要なセキュリティ技術として、暗号化技術、認証技術、ウイルス対策やアクセス制御などを理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 情報セキュリティの概念やその対策を理解する。 2 情報を安全に管理・活用するための情報セキュリティ技術を理解する。
教科書・参考書	
評 価 方 法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
備 考	

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報技師	情報処理技術V	講義	前期	矢野 泰宏	35	専攻

目的およびねらい	<p>医療情報技師が、医療現場のニーズにあった医療情報システムを開発・導入し、適切かつ効率的に運用・管理していくために必要な「情報処理技術」の知識および技能を修得する。この中には、「情報処理技術」の基礎的な事項だけでなく、医療情報技師として求められる医療分野における応用的な事項も含まれている。なお、学習目標に関連した具体的な技術は日々進歩しているので、医療情報システムに活用できる新技術を積極的に学ぶ必要性を理解する。</p>
学 習 計 画	<p>医療現場のニーズにあった医療情報システムを開発・導入し、適切かつ効率的に運用するためには、情報システムの開発と運用に関する知識が必要である。ここでは、システム開発のプロセスモデル、開発工程、プロジェクト管理と開発に用いられる技術やツールについて理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 情報システム開発の代表的なプロセスモデルと開発工程を理解する。 2 情報システム開発におけるプロジェクト管理の概要とその代表的な手法を理解する。 3 情報システム開発に必要な開発関連技術を知る。
教科書・参考書	
評 価 方 法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
備 考	

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報技師	情報処理技術VI	講義	前期	矢野 泰宏	35	専攻

目的およびねらい	<p>医療情報技師が、医療現場のニーズにあった医療情報システムを開発・導入し、適切かつ効率的に運用・管理していくために必要な「情報処理技術」の知識および技能を修得する。この中には、「情報処理技術」の基礎的な事項だけでなく、医療情報技師として求められる医療分野における応用的な事項も含まれている。なお、学習目標に関連した具体的な技術は日々進歩しているので、医療情報システムに活用できる新技術を積極的に学ぶ必要性を理解する。</p>
学 習 計 画	<p>医療情報システムを安定して稼働させ、障害時に速やかに復旧させるためにはシステム管理の知識が必要である。ここでは、医療情報システムを安全かつ安定的に運用するために必要な資源管理、障害管理、性能管理や障害対応方法などを身につける。</p> <p>また、情報システムを利用するユーザ情報の管理・認証方法と利用者教育の手法について理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 情報システムの運用管理を理解する。 2 情報システムのユーザ管理とユーザ教育を理解する。
教科書・参考書	
評 価 方 法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
備 考	

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報技師	情報処理技術Ⅶ	講義	前期	矢野 泰宏	20	専攻

目的およびねらい	<p>医療情報技師が、医療現場のニーズにあった医療情報システムを開発・導入し、適切かつ効率的に運用・管理していくために必要な「情報処理技術」の知識および技能を修得する。この中には、「情報処理技術」の基礎的な事項だけでなく、医療情報技師として求められる医療分野における応用的な事項も含まれている。なお、学習目標に関連した具体的な技術は日々進歩しているので、医療情報システムに活用できる新技術を積極的に学ぶ必要性を理解する。</p>
学 習 計 画	<p>新しい情報技術や情報サービスが日進月歩で登場しており、医療情報システムの効率的な運用や利用に役立つものも多い。また、医療情報システムに大量に蓄積されたデータの活用についても様々な取り組みや新しい概念や技術が登場している。ここでは、現段階で医療情報システムにも導入が実施、検討されている情報技術や情報サービスとして、仮想化、クラウド、スマートデバイス、SNS、ビッグデータなどのデータ活用を対象として、それらの概念や種類、技術について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 仮想化と仮想化技術の概要を知る。 2 クラウドコンピューティングの概要とそのサービスを知る。 3 スマートデバイスの種類を知り、その管理方法を理解する。 4 SNSの特徴や問題点を理解し、利活用の方法を知る。
教科書・参考書	
評 価 方 法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
備 考	

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報技師	データベース演習	演習	後期	矢野 泰宏	180	専攻

目的およびねらい	<p>医療情報技師が、医療現場のニーズにあった医療情報システムを開発・導入し、適切かつ効率的に運用・管理していくために必要な「情報処理技術」の知識および技能を修得する。この中には、「情報処理技術」の基礎的な事項だけでなく、医療情報技師として求められる医療分野における応用的な事項も含まれている。なお、学習目標に関連した具体的な技術は日々進歩しているので、医療情報システムに活用できる新技術を積極的に学ぶ必要性を理解する。</p>
学 習 計 画	<p>データベースのしくみ・使い方・作り方</p> <p>この科目では、作業の流れをフローチャートで追い、アルゴリズムを意識しつつプログラミング化を行うことにより、作業のシステム化の能力を磨く。どのようなプログラム言語を用いても手順（アルゴリズム）は共通することを学び、手順の可視化（フローチャートやシーケンスの図）する技術を身につける。</p> <p>MS Accessの紹介、リレーショナルデータベースの説明、既存のデータベースでクエリーやレポートを使用、データの追加、新規データベースの作成、クエリーの作成、レポートの作成</p>
教科書・参考書	
評 価 方 法	<p>提出課題・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
備 考	

令和3年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療情報技師	病院実習	実習	後期	医療機関（病院）	192	専攻

実務経験のある教員による授業科目	この科目は、学校外でのインターンシップを授業の中心に位置づけ、座学の内容と就業体験を統合し、生徒にさらなる学習と就業への方向性をつかんでもらう。また実習を通じて、生徒に職業適性や将来設計について主体的に考えさせる。
------------------	---

目的およびねらい	病院の基本的機能の理解、情報システム部門の業務の理解、病院情報システムの基本機能の理解、サブシステムの種類と機能の理解、ネットワークの構成、セキュリティについての理解、システムの保守などについて理解する。
----------	--

学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 病院の基本的機能 2 情報システム部門の概要 3 病院情報システムの概要 4 サブシステムの種類と機能 5 ネットワーク環境の概要 6 セキュリティーの概要 7 保守の概要 8 他部門との連携
---------	---

教科書・参考書	
---------	--

評 価 方 法	出席状況・提出物・実習先評価を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満
---------	---

備 考	
-----	--